

世田谷区民のアナウンサー！

世田谷区議会議員

石川ナオミ

《ナオミチャンネル》

2022年も  
皆さまと共に  
前進します！！石川ナオミ  
区政報告2022年 新春号  
第013号

石川ナオミ

昨年10月に緊急事態宣言が解除され、少しずつ街に賑わいが戻ってきました。

しかし、感染力の強い新たな変異ウイルス「オミクロン株」の感染拡大も予断許さないところですので、今後も感染対策には引き続き徹底していただくようお願い致します。コロナワクチン接種においては、2回目接種の効果が時間の経過と共に低下する傾向にあり、区民の皆さんが迅速に3回目接種できるよう積極的に区に働きかけてまいります。

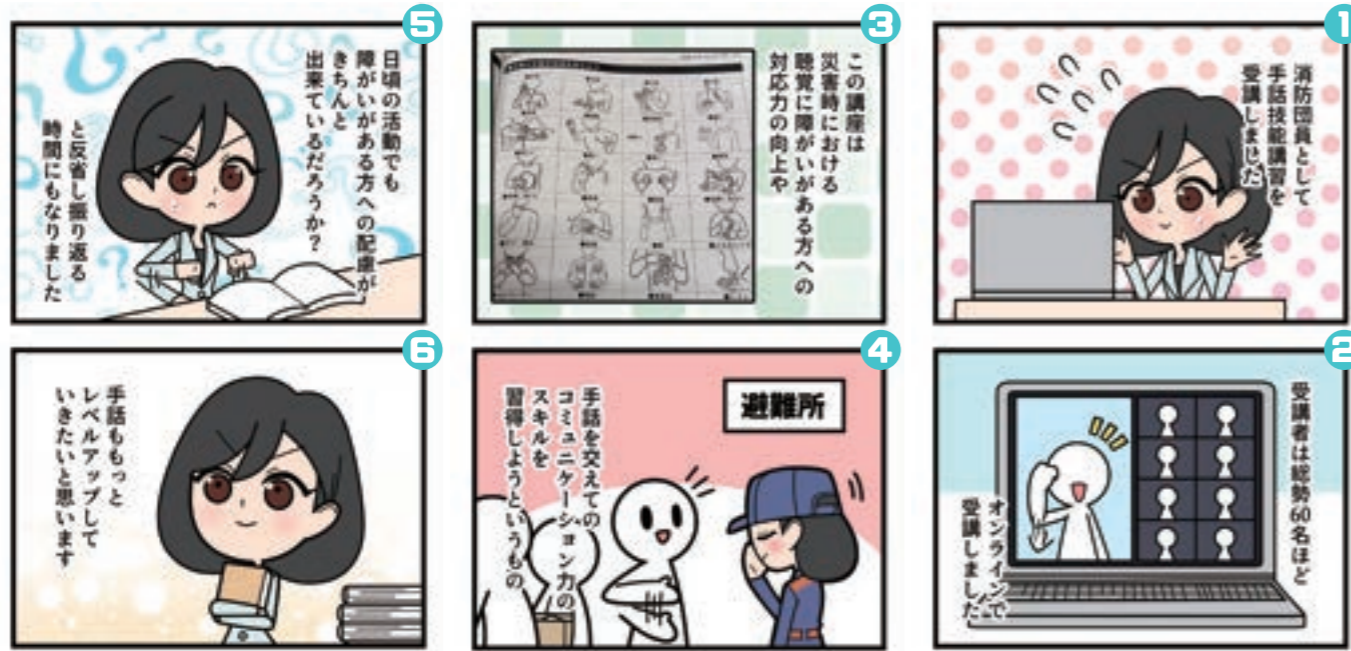
コロナの影響により支援の必要な人が多くいらっしゃいます。今年は、社会経済活動が回復に向かうことを期待しつつも、どのような支援が求められているのか、社会の仕組みや制度はどうあるべきなのか、私自身も区議会議員としてあらゆる視点で継続的に取り組んでまいります。

本年も「点滴岩を穿つ※」ということわざのように、小さな努力を積み重ね、皆さまと共に歩ませていただきながら区政を前へ進めてまいります。引き続きご指導ご鞭撻、何卒よろしく願いいたします。

※軒下から落ちるわずかな雨だれでも長い間、同じ所に落ち続ければ、硬い石に穴をあけてしまうという意味

漫画で伝える  
石川ナオミの活動SNS等でも  
ナオミランドを  
発信しています！

## ナオミランド@手話講座受講編



## 編集後記

昨年末に地域の小学校の保護者の方から、通学路の安全確保についてご依頼をいただき早速対応させていただきました。まだまだ改善できるような子ども達の通学路は引き続き各地域しっかりと見守っていきます。今年も皆さまのどんな小さな声でもお聴きしてもっと暮らしやすい街・世田谷にしていきたいと思えます。皆さまの笑顔溢れる一年となりますように♪

世田谷区立船橋小学校  
付近の通学路

## プロフィール

アナウンサー・NHKキャスターを経てフリーアナウンサーに。官公庁・民間企業・大学等で講師として多数登壇。キャリアカウンセラーとしても活動。2008年株式会社コミュニ（人材育成会社）を設立、代表取締役。2015年「女性の目線から、もっと住みやすい街にしたい」と一念発起し世田谷区議会議員選挙において、公募での自民党公認をいただき出馬。常に笑顔を忘れず地道に謙虚に取り組むことをモットーに現在2期目。自民党区議団では唯一の女性議員として、今日も果敢に取り組んでいる。成城消防団第3分団員。

《委員》都市整備常任委員会委員長、広報小委員会委員長  
災害・防犯・オウム問題等特別委員会委員  
世田谷区消防団運営委員会委員《資格》国家資格キャリアコンサルタント、NLPトレーナー、  
中学・高等学校教員免許、教育カウンセラー皆さまの声を  
お聞かせください

## 石川ナオミ事務所

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山 3-23-26  
TEL & FAX : 03-5942-1285  
Eメール : info@naomi-ishikawa.com <https://www.facebook.com/naoishikawa>

石川ナオミ

検索

ホームページ : [www.naomi-ishikawa.com](http://www.naomi-ishikawa.com) 公式ホームページ





# 6つの重点政策で

## 2022年も区民の皆さまのために働きます!!

### 1 高齢者・障がい者に優しい世田谷を

- 高齢者の認知症・フレイル予防を強化し、介護に携わる方々が安心して就労できるよう、「介護職の所得向上」など待遇改善を進めます。
- 障がい者就労支援や、重度の障がい者の方々など「親なき後」の生活支援、医療的ケア児への支援などそれぞれの障がいに応じた施策を提案します。
- 障がいのある方が、安心して地域で過ごすための活動や生活の場の施設を拡充します。



### 3 産業振興を進め地域経済の活性化を

- 商店街への加入促進や区内事業者の活動を力強く支える施策を展開します。
- コロナ後を見据えて、中小事業者の業態転換補助や伴走型支援の拡充を目指します。
- 入札制度改革を契機として適正な賃金の支払いや働く人達の労働条件を守り区内事業者が安定した経営基盤を築けるよう区に働きかけます。



### 5 みどり豊かな世田谷を

- 急激に減少する農地を守るため積極財政による農地保全施策を進めます。
- 障がいのある方が農業に従事することで就労や生きがいを生み出す農福連携事業が円滑に進めていけるように努めます。
- グリーンインフラを推進し環境保全につなげます。

### 2 子ども達が夢を持てる未来への投資を

- 保育定員の適性化や、私立幼稚園に通わせる保護者負担軽減の補助額を上乗せする施策を進めます。
- いじめや不登校など、児童生徒が抱える多様化した課題、デジタル教育の推進及び思いやりの心を育てる「人間教育」、放課後教育の充実にも力を入れます。また、大学生などによる子ども達の学習支援も進めます。
- 公立小中学校等の施設整備を先送りすることなく安全に学べる環境を整えます。

### 4 区民が暮らしやすい「まちづくり」を

- 通学路の安全対策、連続立体交差事業の推進（開かずの踏切解消）、未開通の道路整備、無電柱化促進などを強力に進めます。
- 地域の防災、減災、防犯教育などの取り組みを拡充し、災害対応力の向上に努めます。
- 区民の生命と財産を守る地籍調査を進め災害復旧の迅速化を図ります。



### 6 地域のコミュニティの強化を

- 町会、自治会の活動を支え、絆づくりを進めます。
- 動物愛護活動を促進し共生社会の育成に努めます。
- 高齢者の方々の居場所づくりをはじめ、区民の皆さんがスポーツ・文化などを通して相互に関わり交流できる場づくりを推進します。

## 活動報告



### 歩行者が安心して通行できる「横断歩道設置」に向けて

私は昨年より都市整備常任委員会の委員長を拝命し、今年も継続して担当させていただきます。この委員会では都市計画の策定や住宅政策、建築物、道路や橋りょう整備などの分野について議案等を詳しく審査しています。そこで今回は、私の活動地域の道路課題について取り上げます。

環状八号道路（環八）の千歳台交差点には横断歩道がなく、自転車専用レーンがあるのみ。小さいお子さんから高齢者の方などあらゆる歩行者が環八を横断する際には上り下り約70段もある歩道橋を渡らなくてはならないのが現状です。



しかし、歩道橋を登れない高齢者の方やベビーカーを押す方は、歩道橋を利用したくても歩道橋利用が困難ということもあり、やむをえず自転車レーンを渡っている場面をよく見かけますが大変危険です。

これまでもこの問題は議会等でも取り上げられてきました。しかし、東京都、警察署が検証した見解では「様々な課題がある」として「横断歩道設置」は調査打ち切りの状態になっていました。

しかし、私は諦めません!!



(第3回定例会代表質問)

昨年9月の第3回定例会の代表質問で再度この問題を取り上げ、区からも東京都や警察署に強く働きかけるようにすること、さらに小松ダイスケ都議会議員、友党公明党の議員と共に、東京都建設局、成城警察署を訪れ、近隣町会から出された要望書を提出。(昨年12月)



(都建設局要望書提出)

これが大きな流れとなり、横断歩道設置に向け止まっていた時計の針が再び動き出しました。区民の声をしっかりと聴き区政に反映させること、皆さんの安心安全が守られることが何よりも大切です。「出来ない」ではなく「どうしたら出来るか」をトコトン突き詰めて考え実行すること。早期の実現に向けて引き続き全力で取り組みます。